



## JAMCA ニュース

No.67

2010年10月1日

発行  
協会事務局全国自動車大学校・整備専門学校協会  
〒160-0015 東京都新宿区大京町 31  
ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066

編集事務局

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3  
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

# 一級整備士課程で得た教訓

静岡工科自動車大学校 校長

全国自動車大学校・整備専門学校協会 監事 平井 一史

一級整備士の検定試験（学科）が平成14年12月に実施されてから今年で9年目を迎えました。JAMCA会員校は資格取得だけが目的ではなく、社会に寄与する優秀な人材を育成する信念のもと、今日まで多くの学生を産業界へ輩出し貢献して参りました。

ふと顧みると我が校でも一級整備士課程を設置したことにより、多くの果実を生み日々の教育活動も活性化され、更なる成長を成し遂げようという職場風土に変貌しつつあります。

## 学生の成長

4年間の在籍期間において、最も学生が芽生え成長するのは3年次であると感じています。これには多くの理由がありますが、ひとつ挙げれば学生にとって二級整備士であるという自負が本人を自信に満ちあふれた言動や行動へと変身させ、自然と生活行動に表れているように感じます。その姿は後輩からも尊敬するまなざしで見られ、先輩としてのカッ



コイ振る舞いを自らが演出しているようにも感じます。

また、後輩から見れば目の前に目標となる人物像が身近に存在していることにより、精神的な成長にも大きな影響を与え、先輩の一举一動が後輩にとっては自分の数年後の姿を映し出される良い源になっています。

## 職員資質向上

一級整備士課程で指導する教職員は、当然その指導にふさわしい資格と人格を備えていなければ学生からの信頼は得られず、敬遠されてしまいます。とかくマンネリ化しやすい学校風土の改革には一級整備士課程の設置があったからこそ得た成果は多く、良い起爆剤となったと思います。

また、この厳しい学校経営の環境下においては、学校の評価は教職員の資質で決まると言っても過言ではないでしょう。一級整備士の養成を担当する者は高度な知識・技術を習得していることはもちろんのこと、人間力の育成についても豊富な能力と見識が必要です。

私たちの使命は「夢を実現させた

い」と希望を抱いて入学してくれる学生の期待に応えることです。

## 情報の共有化

JAMCAの精神のひとつに「各会員校の英知を結集し、お互いの利害を乗り越え教育の資質向上を図る」があります。各校が更なる発展を目指して行くためには、教職員同士の情報交換の機会や、協会主催による技術競技大会などを開催することにより、学生同士が多くの友と交流し自己成長する機会があれば願っています。同時に学校間による情報交換等も積極的に行い、互いが切磋琢磨し奮起する教育環境も必要だと思っています。

## 業界からの期待

現在の自動車業界の状況にHVやEVなどの新技術の普及と、電子装置の故障診断などの高度整備技術が求められています。同時に多様化するユーザーの満足を得るには、情報収集の分析能力を高めることや、環境保全に向けた積極的な活動が求められています。産業界では現在、これらを習得した優秀な技術者を求めています。

今こそ我々はサービスの高度化を促す必要性から、社会的に重要なテーマに貢献できる人材（次世代技術者）の育成をより推進すべきであり、この実現によりユーザーとの新しい信頼関係が芽生え育んでいくと確信します。

### CONTENTS

- 2面 介護福祉に生かせる自動車整備技術
- 3面 我が校自慢
- 4面・5面 企業の人材育成とJAMCAへの期待
- 6面 協会トピックス
- 7面 活躍!! 卒業生・地区通信
- 8面 私の教材活用・編集後記